

【2020年度 キャリア委員会 事業報告】

キャリア委員会

委員長校：関西学院大学

副委員長校：関西福祉大学、甲南女子大学、神戸国際大学

委員校：芦屋大学、関西国際大学、甲南大学、神戸大学、神戸海星女子学院大学、神戸学院大学
 神戸松蔭女子学院大学、神戸親和女子大学、神戸常盤大学、神戸常盤大学短期大学部、聖和短期大学、
 園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、姫路獨協大学、兵庫県立大学、流通科学大学
 (計20校)

<目的>

兵庫県の大学・短期大学・短期大学部・高等専門学校が加盟するコンソーシアムとして、グローバル、ローカルに活躍する人材育成を目指した事業を、県内企業、行政、加盟校キャリアセンターと共に展開する。

<内容>

1. 大学キャリアセンターと連携した県内大学生の地元就職促進プロジェクト
 「若者の地元密着のための就職支援事業」
2. 「県内企業の情報発信の強化」
3. 「地域産業のニーズ調査」
4. 「留学生支援プログラム(ひょうご留学生インターンシップ)」
5. 県内企業海外事業展開に係る留学生活用事業
 「プラットフォームを活用した留学生の日本・兵庫県内での就職促進事業」
6. 地域企業経営者による実践的講座の提供
 「経営者による職業観形成プログラム」

<期待される効果>

1. 地域創生の推進にあたり県外への人口流出を抑制するためには、県内企業への就職を一層促進し、大学キャリアセンターや学生への県内企業への理解促進に向けた取り組みを展開することで、学生のふるさと意識の醸成が期待される。
2. 地域の活性化のためのUJIターン就職の促進が期待される。
3. 地域産業ニーズに対応した人材育成が期待できる。
4. 各加盟校単独では実施が困難だと思われる留学生に特化したインターンシップの機会を提供することで、留学生の県内企業等への就職意欲の向上が期待される。
5. 大学、行政、企業とが連携し、新たなネットワークを構築することでの受入環境づくりの促進と、卒業後の県内企業への就職の動機づけになることが期待される。
6. 学生たちが経営者層から直接理念や思いを聞き、実社会を学ぶことで、キャリア観の形成を促し、正規課程内外における学修動機の強化を図ることができる。

	実施プログラム名称	予算額
①	大学キャリアセンターと連携した 県内大学生の地元就職促進プロジェクト 「若者の地元密着のための就職支援事業」	5,884,000円 * 受託事業収入
②	「県内企業の情報発信の強化」	50,000円
③	「地域産業のニーズ調査」	50,000円
④	「留学生支援プログラム(ひょうご留学生インターンシップ)」	400,000円
⑤	県内企業海外事業展開に係る留学生活用事業 「プラットフォームを活用した 留学生の日本・兵庫県内での就職促進事業」	10,620,000円 * 受託事業収入
⑥	地域企業経営者による実践的講座の提供 「経営者による職業観形成プログラム」	100,000円 * 受託事業収入

※事業計画実施の際は、新型コロナウイルス(COVID-19)感染症拡大(第2派、第3派も含め)の防止のため、イベントの内容・方法の変更などについて、状況に応じて委託元の兵庫県とも協議のうえ実施する。

【2020年度 キャリア委員会 事業報告①】

課題	地域の活性化のための県内企業就職率の向上			
達成目標	県内企業就職率: 33.0%(2021年度)			
課題を解決する取組概要	<p><若者の地元密着のための就職支援事業> 兵庫県の年齢別転出超過で最も多いのは、大学卒業・就職を契機とした若者で、約2万人いる県内大学卒業者のうちの『県内企業就職率』は、3割弱に過ぎず、7割以上が県外に本社のある企業に就職している。この県内企業就職率を引き上げ、若者の県内定着を推進することで、地域の活性化を実現する。</p>			
活動指標	各取組への参加学生・教職員数: 2017(平成29)年度実績をベースに毎年5%増 参加学生数: 650名 教職員数: 2020年度 83名(2020年度)			
内容 (結果)	<p>【兵庫県企画県民部管理局大学課 受託事業「大学キャリアセンターと連携した県内大学生の地元就職促進プロジェクト」】</p> <p><達成目標に対する成果> 県内大学卒業生の県内企業就職率: 28.2%(2019年度)*兵庫県地域創生戦略実施状況報告書「実施状況(2019年度)」より <活動指標に対する成果> 参加学生数754名(2020年度目標650名に対し116%の達成)、参加教職員数90名(2020年度目標83名に対し108%の達成)、動画閲覧数820回</p> <p>I、大学キャリアセンター教職員に対する県内企業の理解促進に向けた取組</p> <p>1)キャリアセンター対象の合同企業説明会 ①2021年3月2日(火)兵庫県中小企業家同友会と連携 参加者:(大学)9校14名、(企業)41社、(行政・団体)1団体 2)企業とキャリアセンターとの意見交換会(計4回) ①2020年4月27日(月)コロナの今*オンライン 参加者:(大学)9校12名、(企業)10社12名 ②2020年11月17日(火)神戸新聞社と連携 参加者:(大学)5校6名、(企業)10社15名、(行政・団体)1団体1名 ③2020年12月16日(水)淡路商工会と連携 *ハイブリッド 参加者:(大学)5校7名、(企業)9社9名、(行政・団体)3団体4名 ④2021年2月26日(金)丹波県民局と連携 参加者:(大学)10校10名、(企業)15社15名、(行政・団体)7団体10名 3)県内企業魅力発見バスツアー(計5回) * covid19感染拡大防止のため現地訪問 →動画作成に変更 ①②2021年3月公開(神戸方面)<甲南大学と連携:参加学生1校5名> 閲覧数(公開~3/12現在):111回 ③ 2021年1月公開(但馬方面)<関西学院大学経済学部と連携:参加学生1校7名> 閲覧数(公開~3/12現在):300回 ④⑤2020年11月公開(丹波篠山方面)<関西学院大学経済学部と連携:参加学生3校6名> 閲覧数(公開~3/12現在):409回</p> <p>II、大学生に対する県内企業の理解促進に向けた取組</p> <p>1)学生対象の合同企業説明会(計2回) ①2020年11月17日(火)開催:神戸新聞就職転職フェア 兵庫の企業セクション 参加者:(学生)92名(うち加盟校8校51名)、(企業)10社 ②2021年3月2日(火)開催:ひょうご就職サミット2022 参加者:(学生)30校89名(うち加盟校15校64名)、(企業)41社 2)経営者による職業観形成プログラム(計2回) ①2020年5月28日(木)モチベを上げる会*オンライン 参加者:(学生)15校80名、(大学)2校2名、(企業)3社5名、(行政・団体)3団体4名 ②2021年1月23日(土)座談会*オンライン 参加者:(学生)延べ143名(16校126名中)、(企業)20社29名 3)若手社員による学生啓発プログラム(計3回) ①2020年5月28日(木)アフターコロナ*オンライン 参加者:(学生)15校80名、(大学)2校2名、(企業)7社11名、(行政・団体)3団体4名 ②2021年1月23日(土)合同模擬GD*オンライン 参加者:(学生)16校126名、(大学)17校17名、(企業)21社30名 ③2021年1月23日(土)面接大作戦*オンライン 参加者:(学生)16校126名、(大学)17校17名、(企業)21社30名</p>			
新しい試み等 (事業計画に記載)				
事業収支	収入	支出	収支	備考
	5,884,000円	5,984,000円	-100,000円	*事業計画⑥の予算額を事業計画①にて執行

自己評価	【対到達目標】	3	【対継続性】	4
	<p><達成目標> 県内企業就職率 33%</p> <p><活動指標> 各取組への参加学生数: 2017年度実績(562名)の毎年5%増 2020年度: 650名 教職員数: 83名(2020年度)</p> <p><2020実績> 県内就職率28.2%(2019年度)のため道半ばではあるが、活動指標となる参加学生数に関しては、11月末時点の参加学生数: 160名、教職員数: 56名、そして今後開催イベントでの参加見込み学生: 約400名、教職員: 40名のため、目標値(学生: 650名、教職員: 83名)は達成できる見込みである。</p> <p>I、大学キャリアセンター教職員に対する県内企業の理解促進に向けた取組 キャリアセンター職員は、県内優良企業の存在をバスツアーを通して知り得た。このことが、意識変化や支援の幅の広がりにつながった。また、他大学教職員や企業採用担当者との交流及び企業現場訪問の機会には有意義であり、情報交換や相談の場の提供にもなった。企業と学校が一同に会える場では、キャリアセンター職員は企業開拓と企業理解を同時に行えるのが大きな利点であり、学生支援に幅を持たせることができようになる。</p> <p>II、大学生に対する県内企業の理解促進に向けた取組 県内大学に所属する学生たちが、経営者や若手社員との交流を通して様々な視点を持つことで、県内企業や県内で就職するメリットを感じ、県内企業への就職の可能性を見出した。また、すぐに就職活動への行動を起こした学生もいるなど、次へのアクションへのきっかけを提供できた。また、社長の参加がある企業からは経営者の熱い思いを直接受け取り、会社の存在意義や今後の発展に必要な考え方、若い力の必要性などを学べた。さらに、単に企業紹介だけでなく、社会人としての働き方についてじっくり話ができる機会にもなった。事後アンケート結果でも「県内企業への理解や興味は深まった」77%となっており、県内企業への理解や興味関心が深まり、県内企業への就職の可能性を見出せたという点において、目的を達成できたと考えられる。</p>			

<p>■自己評価基準 (対到達目標)</p> <p>4: 当初計画を上回って達成 3: 当初計画を達成 2: 当初計画をやや下回った 1: 当初計画を下回った</p>	<p>■自己評価基準 (対継続性)</p> <p>4: 本プログラムは継続すべき 3: 本プログラムは継続しても良い 2: 本プログラムの継続には改善が必要 1: 本プログラムは中止すべき</p>
--	---

理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映)	対象者(教職員・学生)のニーズ等を検証のうえ、来年度の事業の受託に向けて準備を進めていただきたい。
----------------------------	---

【2020年度 キャリア委員会 事業報告②】

課題	地域の活性化のためのUJIターン就職の促進			
達成目標	情報公開する企業数:100社(2021年度)			
課題を解決する取組概要	<p><県内企業の情報発信の強化> ひょうご産官学連携協議会に参画している地域の産業界の協力を得て県内企業情報を収集し、大学プラットフォーム(大学コンソーシアムひょうご神戸)HPにおいて公表し、兵庫県のUJI ターンの職業紹介等のHP との連携を図る。</p>			
活動指標	情報公開する企業数:15社(2020年度)			
内容 (結果)	<p><達成目標に対する成果>情報公開する企業数:111社(2021年度までの目標100社に対し111%達成) <活動指標に対する成果>情報公開する企業数:33社(2020年度目標15社に対し220%達成)</p> <p>「地元で働こう!兵庫県内企業情報サイト」に随時情報公開。 《掲載内容》業種、資本金、売上高、従業員数、本社所在地、事業内容、経営方針、特色・強み、採用情報(企業HPへリンク)</p> <p>※兵庫県内協力企業111社掲載中(2021年3月現在) ※2020年3-4月には、既にHP掲載企業に関して、コロナ禍における採用活動変更を掲載した。 ※キャリア委員校と連携し、2020年度新規企業掲載準備を行い、2020年10月15日キャリア委員校キャリアセンターに本年度分推薦依頼、12月上旬のメール審議を経て、本年度追加掲載33社を決定した。</p>			
新しい試み等 (事業計画に記載)				
事業収支	収入	支出	収支	備考
	50,000円	円	50,000円	
自己評価	【対到達目標】	4	【対継続性】	4
	<p><達成目標>情報公開する企業数:2021年度までに100社 <活動指標>情報公開する企業数15社(2020年度) <2020年度実績>15社~30社追加掲載に向けて準備をすすめており、達成できる見込みである。</p> <p>キャリア委員会に所属する20大学と連携し、企業開拓を行っている。具体的には、各大学において、過去10年間にOB・OGを輩出している県内企業を選定し、事務局に推薦頂いたものを、委員会にて審議し、掲載している。そのため、信用度も高く、コンソーシアムならではのオリジナルな情報の提供に繋がっている。2021年度の達成目標に向けて着実な成果を上げることができている。</p>			
■自己評価基準 (対到達目標)	4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った		■自己評価基準 (対継続性)	4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき
理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映)	協力企業の開拓及び学生に有益な情報の効果的な発信の仕組みの構築について、引き続き取り組んでいただきたい。			

【2020年度 キャリア委員会 事業報告③】

課題	地域産業ニーズに対応した人材育成			
達成目標	地域産業ニーズをまとめた資料をHPで閲覧、もしくは資料配布を受けた学生数：10,000名(2021年度までののべ数)			
課題を解決する取組概要	<p><地域産業のニーズ調査> ひょうご産官学連携協議会に参画している地域の産業界の協力を得て、県内企業が求める人材、大学において習得すべき知識・技能についての情報を収集し、大学プラットフォーム(大学コンソーシアムひょうご神戸)HPにおいて公表するとともに、大学、企業との情報共有の場を設ける。</p>			
活動指標	産業界と大学キャリア担当者の情報交換会の開催：4回(2020年度) 地域産業ニーズをまとめた資料の作成・配布：3,000名(2020年度)			
内容(結果)	<p><達成目標に対する成果>29,023名(2021年度までの目標に対して290%の達成) <活動指標に対する成果> 産業界と大学キャリア担当者の情報交換会の開催：6回(2020年度目標4回に対し150%達成) 地域産業ニーズをまとめた資料の作成・配布：24151名(2020年度目標3000名に対し805%達成)</p> <p>(1)企業の人材確保状況(面接数、内定数、採用数等)や求める人材像、大学等高等教育機関において習得すべき知識・技能について行った調査結果を分析し、HPでの情報公開と配布資料の作成を行った。 (2)(1)の公開内容について、各プログラム参加学生に資料として配布する。 配布数：6,020部(2020年度)*2019年度までの配布実績3,950部 HP閲覧数：18,131(2020年度)*2019年度までの閲覧数：922 (3)公開内容に基づいて、大学、企業との情報共有の場として情報交換会を開催した。 2020年度6回：①2020年4月27日、②2020年10月30日、③2020年11月17日、 ④2020年12月16日、⑤2021年2月26日、⑥2021年3月2日</p>			
新しい試み等(事業計画に記載)				
事業収支	収入	支出	収支	備考
	50,000円		50,000円	
自己評価	【対到達目標】	4	【対継続性】	4
	<p><達成目標>地域産業ニーズをまとめた資料の閲覧・配布学生数 10,000名 <活動指標>情報交換会開催：4回(2020年度) 閲覧・配布数：3,000名 情報交換会は、5回実施、また閲覧・配布数も2020年度のみで13,568名(2019年度からの合計は18,440名)であり、達成目標値を大幅に上回っている。</p>			
■自己評価基準(対到達目標) 4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った		■自己評価基準(対継続性) 4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき		
理事会からの改善提案(次年度事業計画に反映)	「達成目標」を達成するため、引き続き加盟校と連携して取り組んでいただきたい。			

【2020年度 キャリア委員会 事業報告④】

課題	“ひょうご神戸”の国際性を活かしたグローバル人材育成			
達成目標	本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の80%以上（期間中に2回測定）			
課題を解決する取組概要	<p><留学生支援プログラム（ひょうご留学生インターンシップ）> 個別大学では実施が困難な留学生に特化したインターンシップの機会提供を共同で実施し、留学生の県内企業等への就職意欲の向上を図る。参加留学生のニーズを勘案のうえ、受入企業、団体等を決定する。</p>			
活動指標	参加者数：10大学・35名以上（最大40名）/年 受入企業・団体等数：20企業・団体以上/年			
内容 （結果）	<p><達成目標に対する成果>国際理解が深まったことを実感する学生：89%（目標値80%以上を達成） <活動指標に対する成果>参加学生数：7大学19名（活動指標：10大学・35名/年に対し54%達成） * 推薦学生：9大学34名 受入企業・団体数：11（活動指標：20企業・団体以上/年に対し55%達成）</p> <p>留学生支援プログラム（ひょうご留学生インターンシップ） 個別大学では実施が困難な留学生に特化したインターンシップの機会提供を共同で実施し、留学生の県内企業等への就職意欲の向上を図る。参加留学生のニーズを勘案のうえ、受入企業・団体等を決定する。</p> <p>【プログラムスケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語能力試験N1①②③ 6月6日（土）、8日（月）、9日（火）* オンライン ・推薦学生ガイダンス 6月10日（水）* オンライン ・推薦学生と企業の交流会 6月13日（土）* オンライン ・事前面談 6月18日（木）～20日（土）* オンライン ・オリエンテーション・事前研修 6月27日（土）* オンライン ・事前訪問 7月中旬～8月 ・企業・団体実習期間 8月3日（月）～9月18日（金） ・事後研修・報告会・修了交流会 9月19日（土）* オンライン <p>【修了生数】 5大学18名（実習は19名が参加） 内訳：関西学院大学(6)、神戸大学(3)、芦屋大学(3)、流通科学大学(3)、神戸親和女子大学(2)、神戸学院大学(1)、神戸国際大学(1) 【受入企業数】 11社（うち新規受け入れ先2社）</p>			
新しい試み等 （事業計画に記載）				
事業収支	収入	支出	収支	備考
	400,000円		400,000円	
自己評価	【対到達目標】	3	【対継続性】	4
	<p><達成目標>国際理解が深まったことを実感する学生：80% <活動指標>参加者数：10大学・35名/年、受入企業・団体等数：20企業・団体以上/年 <2020年度実績>実習生：7大学19名、受入企業・団体数：11 本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の100%</p> <p>平成22年度より現行の枠組みで実施しており（平成21年度は試行的に実施）、今年度で12年目を迎えた。11年間で469名の修了生を輩出し、6割以上が日本で就職しており、日本での就職を希望する留学生にとって意義のあるプログラムとなっている。参加条件は一定の日本語能力（日本語能力検定1級取得もしくは1級相当）としており、面談により意欲がある学生を選考しており、人数はプログラムの質確保の観点から、10大学35名と設定したが、今年度はcovid19感染拡大の影響もあり、プログラム開始後の申込学生および受入企業からの辞退も相次いだ。最終的には5大学から5か国19名の学生が参加し、11企業・団体での実習が実施された。報告会には受入企業（7社）や加盟校関係者が多数出席していただき、受入企業からも高い評価を得ている。また、参加した留学生の意識の向上も認められ、当初期待以上の効果を上げることができた。</p> <p>次年度も社会情勢が変わらないと思われるため、学生推薦のステップにおいて、推薦大学からの理解と協力をえて連携を更に深めた上で、プログラム推進に励みたい。</p>			
■自己評価基準 （対到達目標）	4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った		■自己評価基準 （対継続性）	4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき
理事会からの改善提案 （次年度事業計画に反映）	本コンソの基幹プログラムの一つとして、来年度もぜひ継続していただきたい。			

【2020年度 キャリア委員会 事業報告⑤】

課題	“ひょうご神戸”の国際性を活かしたグローバル人材育成			
達成目標	本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の80%以上(期間中に2回測定)			
課題を解決する取組概要	＜プラットフォームを活用した留学生の日本・兵庫県内での就職促進事業＞ 大学、行政、企業が連携し、新たなネットワークを構築することでの 受入環境づくりの促進と、卒業後の県内企業への就職の動機付けを図る。			
活動指標	参加留学生：100名以上/年			
内容 (結果)	<p>【兵庫県産業労働部国際局国際交流課 受託事業「県内企業海外事業展開に係る留生活活用事業」】 ＜達成目標に対する成果＞国際理解が深まったことを実感する学生：89% (目標値80%以上を達成) ＜活動指標に対する成果＞参加留学生数：781名(活動指標：100名以上/年に対し781%達成)動画配信数：411回</p> <p>1) 留学生向け・合同企業説明会 ①2020年6月24日(水)・25日(木) * オンライン開催 参加者：(留学生)510名(うち加盟校11校92名)、(企業)19社</p> <p>2) 日本語能力試験N1集中講座(計3回) ①2020年6月6日(土) ②2020年6月8日(月) ③2020年6月9日(火) * オンライン開催 参加者：(留学生)9校61名、(大学)1校3名、(企業)1社3名、(行政・団体)1団体3名</p> <p>3) ビジネス日本語講座(計4回) * 全てオンライン開催 ①2020年5月14日(木)「外国人留学生のためのオンライン就職活動セミナー」 参加者：(留学生)10校43名、(大学)3校4名、(企業)1社1名、(行政・団体)1団体1名 ②2020年6月10日(水)「インターンシップ修了生との懇談会」参加者：(留学生)10校33名、(行政・団体)1団体1名 ③2020年6月27日(土)「ビジネスマナー研修」 参加者：(留学生)7校22名、(大学)1校1名、(企業)1社1名、(行政・団体)1団体1名 ④2020年7月31日(金)「ベトナム出身留学生のためのオンラインキャリアセミナー」 参加者：(留学生)5校10名、(大学)3校5名、(行政・団体)2団体2名</p> <p>4) 就職活動Q&A講座(計4回) * 全てオンライン開催 ①2020年6月10日(水)「インターンシップガイダンス」参加者：(留学生)9校31名、(行政・団体)1団体1名 ②2020年6月13日(土)「推薦学生と企業の交流会」 参加者：(留学生)9校27名、(大学)2校2名、(企業)10社16名、(行政・団体)1団体1名 ③2020年9月19日(土)「外国人留学生に求められていることは？」参加者：(留学生)7校16名 ④2020年9月19日(土)「インターンシップ報告会」 参加者：(留学生)7校18名、(大学)8校8名、(企業)8社18名、(行政・団体)2団体2名</p> <p>5) 県内先端産業・科学技術施設及び企業見学会 * Covid-19感染拡大防止のため現地訪問→動画による企業紹介に変更。 (参加留学生)1校1名。2021年2月配信。閲覧数(公開～3/12現在)：111回</p> <p>6) 但馬方面企業見学バスツアー * Covid-19感染拡大防止のため現地訪問→動画による企業紹介に変更。 (参加留学生)3校3名。2021年1月配信。閲覧数(公開～3/12現在)：300回</p> <p>7) グローバル人材育成セミナー * オンライン開催 ①2020年12月10日(木)「女性の生き方を考えるキャリアセミナー 女子×グローバルキャリア×これからの時代」 参加者：(留学生)6校6名、(日本人学生)27校52名、(大学)4校5名、(企業)3社3名、(行政・団体)2団体2名</p> <p>8) 大学と企業との意見交換会 * オンライン開催 「外国人材の活用・マネジメント×留学生の成長を考える」 参加者：(大学)24校33名(うち加盟校8校12名)、(企業)25社29名、(行政・団体)4団体10名 ※「ひょうご留学生インターンシップ(キャリア委員会事業)」も国際交流課受託事業となります。</p>			
新しい試み等 (事業計画に記載)				
事業収支	収入	支出	収支	備考
	10,620,000円	10,620,000円	0円	

自己評価	【対到達目標】	4	【対継続性】	4
	<p>＜達成目標＞国際理解が深まったことを実感する学生：80% ＜活動指標＞参加留学生：100名以上/年 ＜2020年度実績＞参加留学生数：771名(11月末現在) 本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の89%</p> <p>①合同企業説明会 コロナ禍で合同企業説明会が中止になる中、オンラインでの説明会を実施し、多くの留学生が参加した。</p> <p>②日本語能力試験N1集中講座 日本語能力試験N1試験前に、プロの日本語講師から効率的な読解方法等の対策を学ぶことで、試験に向けた勉強方法を体得することができた。また、試験対策だけでなく、就職活動、入社後にも使える日本語のレクチャーを受けたことで日本で働く準備、心構えも同時に行う契機となった。</p> <p>③ビジネス日本語講座/④就職活動Q&A講座 日本で就職するために必要となる日本独自のビジネスマナー、ビジネス日本語を学び、自分自身の今の能力を認識し、日本企業への就職の実態を聞くことで、日本で働くことへの理解が深まり、これから具体的に自身が何をすべきかを考える機会となった。</p> <p>⑤⑥先端産業・企業見学バスツアー コロナ禍で大人数での現地見学が困難となったため、企業紹介する動画を作成し、コンソHPにて広く公開することにした。動画の企画・撮影・編集については関西学院大学や甲南大学の学生が関わり、学生の企業研究機会提供の場ともなった。</p> <p>⑦グローバル人材育成セミナー 低年次からキャリアについて理解し、これからの人生において主体性をもって取り組むことの大切さを学び、加えて世界で活躍する「グローバル人材」となるために必要な能力、知識、マインドなどを理解する機会となることを目的とする。</p> <p>⑧大学と企業との意見交換会 オンラインで開催することで、全国各地の大学から多くの参加があった。外国人留学生支援において、産官学で連携することが、共通の課題を解決する上で必要だと理解できる時間となった。</p>			

■自己評価基準
(対到達目標)

- 4: 当初計画を上回って達成
- 3: 当初計画を達成
- 2: 当初計画をやや下回った
- 1: 当初計画を下回った

■自己評価基準
(対継続性)

- 4: 本プログラムは継続すべき
- 3: 本プログラムは継続しても良い
- 2: 本プログラムの継続には改善が必要
- 1: 本プログラムは中止すべき

理事会からの
改善提案

対象者(留学生・県内企業)のニーズ等を検証のうえ、来年度の事業の受託に向けて準備を進めていた
 いただきたい。

【2020年度 キャリア委員会 事業報告⑥】

課題	地域企業経営者による実践的講座の提供			
達成目標	プログラム参加学生数:300名(2021年度)までののべ数)			
課題を解決する取組概要	<p><経営者による職業観形成プログラム> ひょうご産官学連携協議会に参画している地域の産業界の協力を得て、企業経営者を講師として講座を開講する。経営者の理念や思いを聞き、実社会を学ぶ。ICTを活用した教育の推進も検討する。</p>			
活動指標	地域の企業経営者によるセミナーの開催 2回(2020年度)			
内容 (結果)	<p><達成目標に対する成果>591名(2021年度までの目標に対して197%の達成) <活動指標に対する成果>セミナー開催:2回(活動指標:2回(2020年度)に対し100%達成)</p> <p>経営者による職業観形成プログラム(計2回) 県内中小企業の経営者が、地域に根差した先進的・実践的な自社の取組や課題解決事例等、直接学生に講話し、学生の地元(兵庫県)意識の高揚を図る。</p> <p>2020年度参加学生総数:223名 ①2020年5月28日(木)「モチベーションをあげる会」*オンライン開催 参加者数:(学生)15校80名、(大学)2校2名、(企業)3社5名、(行政・団体)3団体4名 ②2021年1月23日(土)開催予定「オンライン座談会」*オンライン開催 参加者数:(学生)143名(延べ人数/16校126名中)、(企業)20社29名</p> <p>*2019年度までの参加学生実績:368名</p>			
新しい試み等 (事業計画に記載)				
事業収支	収入	支出	収支	備考
	100,000円		100,000円	*事業計画①にて執行

自己評価	【対到達目標】	4	【対継続性】	4
	<p><達成目標>参加学生数:300名(2021年度までの延べ数) <活動指標>地域の企業経営者によるセミナーの開催:2回(2020年度) <2020年度実績>2回開催予定、参加学生80名(2019年度からの合計448名) ①2020年5月28日(木) 参加者数:(学生)15大学80名、(大学)2大学2名、 (企業)3社5名、(行政・団体)3団体4名 ②2021年1月23日(土)開催予定 ※2020年度は Covid-19感染拡大防止の観点から、テレビ会議システムZoomを活用することで、遠隔地に滞在中の講師と学生をつなぎ、講座を受講できるネットワーク環境を準備した。</p>			

■自己評価基準
(対到達目標)

4:当初計画を上回って達成
 3:当初計画を達成
 2:当初計画をやや下回った
 1:当初計画を下回った

■自己評価基準
(対継続性)

4:本プログラムは継続すべき
 3:本プログラムは継続しても良い
 2:本プログラムの継続には改善が必要
 1:本プログラムは中止すべき

理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映)	対象者(学生)のニーズ等を検証のうえ、引き続き取り組んでいただきたい。
----------------------------	-------------------------------------